

令和元年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493800039	事業の開始年月日	平成19年2月1日
		指定年月日	平成19年2月1日
法人名	特定非営利活動法人 折本福祉サービス		
事業所名	グループホーム蘭寿おりもと		
所在地	(〒224-0043) 神奈川県横浜市都筑区折本町1374-1		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和1年12月25日	評価結果 市町村受理日	令和2年4月3日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームの周りは緑に囲まれ、田畑が多く、散歩など環境面には恵まれております。日常生活の中で利用者様と職員とが仲良く、一緒にお散歩する事から1日が始まり、天気が悪い日などはユニット内でトランプ、ぬり絵、歌レクなどたくさんの遊びを取り入れ、楽しんで過せる環境を提供できるように取り組んでおります。1年を通じて季節に応じた様々な行事を行い、お花見、やきいも大会、歌謡ショー、踊りなど時にはドライブを兼ねて回転寿司など外食にも出かけ、お好きな物を食べられている様子は、本当にニコニコと楽しそうです。地域での活動も活発で、獅子舞やお神輿、盆踊りなどにも積極的に参加し地域の皆様との活動も行なっております。利用者様と職員とが一体となり喜びも悲しみも共有、傾聴させて頂き、利用者様にとって安心して、穏やかに過ごしていただけますように日々努力してまいりたいと思います。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	令和2年2月25日	評価機関 評価決定日	令和2年3月12日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】

◇「利用者本位」のケアの実践

管理者は、理念の「利用者本位」と行動指針の「蘭寿クレド」を職員に周知・徹底しており、職員は、利用者とのかかわりを最優先にケアに努めている。利用者はアットホームな環境の中、自由で各自のペースに合った生活を送っている。

◇安心できる医療連携体制の構築

利用者の協力医の往診と通院している専門医の診療結果は、医師、看護師、薬剤師と職員間で共有している。家族には、毎月書面の近況報告で往診内容を伝えている。年1回健診車が来訪して、健康診断も実施している。

◇統一したケアの実施

利用者毎に移動、排泄、食事、服薬や入浴などの支援内容を「統一ケア個別対応表」に具体的に記載して、職員が統一したケアを実施できるようにしている。

【事業所が工夫している点】

◇隣接する同一法人のグループホームとの連携

隣接するグループホームとは、防災訓練、健康診断、レクリエーションの合同開催や情報交換などで連携して、効果的、効率的な運営に努めている。

◇具体的事例による職員指導の徹底

管理者は、職員の行動で気になったことを「グループホームに向かないスタッフ像」としてまとめ、リビングや連絡ノートに掲示して、職員に徹底している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム蘭寿おりもと
ユニット名	いぶき

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の意味を理解し、常に職員同士が話し合い、皆で利用者本位の理念を共有し、日々実践出来る様に努めている。	・理念の「利用者本位」を事務所やリビングに掲示してあり、職員は、行動指針13項目の「蘭寿クレド」を毎朝唱和している。 ・理念の実践のため、職員は、①しなければならない事、②して欲しい事、③してあげたい事との優先順位を決めケアに努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事(獅子舞・盆踊り)に参加をしたり、地域で行う防災訓練に参加している。また定期的に、ボランティアの演奏会を行い、地域の方々と交流を図っている。	・利用者と職員が、地域の獅子舞や盆踊り、お祭り(神輿と山車が来訪)に参加している。 ・利用者家族による3か月毎のフルートやキーボード演奏、歌と踊り、毎週の歌の先生の歌レク、毎月のハーモニカ・アングル演奏のボランティアを受け入れている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事(獅子舞・盆踊り)に積極的に参加をしたり、こども110番に登録をしている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行い活動報告を行っている。その場で出た意見や要望等を職員全員が共有し、サービスの向上に活かせるようにしている。	・運営推進会議は、2か月毎に利用者と家族、町内会役員、民生委員、区と地域包括支援センター職員が出席して開催している。 ・参加者から「高齢者への投薬では歯に挟まるため、錠剤を粉砕した方が効果的である」との意見があり検討中である。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常に区役所のケースワーカーの方と連携を取る様になっている。運営推進会議にて、担当者の方へ積極的に、ケアサービスの取組みを伝えていく。	・区の生活支援課とは、生活保護受給者の近況報告や個別相談で、情報を共有している。 ・区の高齢・障害支援課とは、事務員が介護認定の申請代行や介護保険手続きの相談で、協力関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないように内部研修や勉強会を行って理解を深め、職員同士声を掛け合い、状況に応じたケアを心掛けている。足腰に不安のある利用者がいらっしゃる為、また階段もある為、安全面・防犯上フロアの扉の施錠は行っています。	・身体拘束の現状を、運営推進会議で議論している。 ・「身体拘束廃止に関する指針」の周知を目的に、年2回研修を実施し、身体拘束しないケアに取り組んでいる。 ・玄関は開錠しているが、フロア扉は安全・防犯上施錠している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会を行い理解を深めた上で、職員同士声を掛け合いながらケアに取り組んでいる。また、入浴時や着替え、排泄時などの介助の際に細かく確認し、見過ごす事の無い様に注意している。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護の制度についての勉強会が出来ていませんが、今後ユニット会議などで機会を設けて、職員一人一人が理解し活用出来る様、取り組んでいきたい。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、ご本人またはご家族様に対して、入退去についての説明をしっかりと行っている。また、ご家族様の不安や疑問点については、直ぐに説明を行えるように体制を整えています。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様ご家族様には、日頃からお電話や来訪時に近況報告をし、ご意見・ご要望がないか確認している。ご意見・ご要望がある際には、直ぐに反映出来る様に迅速に対応している。	・家族の意見・要望は、面会、電話連絡や介護計画の更新時のヒアリングで聞き取っている。 ・家族から「散歩など外出の機会を増やし、体力の維持に努めて欲しい」との要望があり、積極的に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	フロアー会議や申し送り、または個別に聞いたり等して、意見や提案等が無いかわかる機会を多く持っている。	・職員の意見・提案は、日々の会話、各種会議やフロア会議の前に職員が提出する「会議提案事項」などで把握し、運営に反映させている。 ・職員から、冬期の風邪予防策として居室に濡れタオルを掛ける提案があり、対応した。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、普段から管理者や職員が意見が出やすい環境を作ったり、聞く機会を設けたりして勤務状況の把握に努め、職場環境が良いものとなる様にしている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に外部研修等に参加出来るような環境を整えている。また、管理者が業務に入り、実際に適切なケアが行われているか把握する事に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	定期的に他ホームとの交換研修を行って交流する機会を多く持ち、またブロック会議などに参加しサービスの質の向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	1日も早く慣れて頂き、安心して生活して頂ける様に、ご本人様の趣向や生活環境を傾聴して把握をし、信頼関係の構築に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に十分な説明や面談を行っている。入居後は、ご家族様にはこまめに連絡を行い、安心して頂ける様に報告している。また、訪問時には現状の報告を行い、ご要望が無いかお聞きしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様やご家族様からご意見・ご要望をお聞きし、必要とされるサービスが適切に行っているかこまかく確認し、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様が出来る事範囲の事は、職員が間に入りながら行い、他入居者様と共同生活を行える様に努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員だけではなく、ご家族様の協力を得ながら介護を行い、ご本人様とご家族様との間に入り、良好な関係を築けるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様がこれまで築いこられた関係が壊れないように、外出支援を行ったり、訪問して頂ける様な環境作りに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時のアセスメントや家族からの情報で、利用者の生活歴や馴染みの関係を把握している。 ・利用者馴染みのお菓子、飲料、化粧品を購入を支援している。 ・家族との宿泊旅行、映画鑑賞、外食や帰宅を支援している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様個々の性格や関係性に注意し、孤立しないよう時には職員が間に入り、利用者様同士が自然に関わり合い・支え合えるように支援していく。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後であっても、必要であればご家族様へ連絡、またして頂けるよう、必要に応じた相談・支援が出来る体制を整えている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様よりご希望などをお聞きし、適切にケアが行われているか見極めている。また、ご本人様のへ聞き取りが困難な場合には、ご家族様や職員などから聞いたりして把握に努め対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の思いや意向把握には、散歩や、夜勤時の一对一の時間が取れる機会を大切にしている。 ・意思疎通が困難な利用者には、家族の情報や、利用者の行動、表情から推測している。把握した情報は、申し送りやケース記録で職員間で共有している。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様との会話の中から、今までの生活歴や暮らし方、生活環境を把握し、またご家族様に確認を取りながら、支援に活かしていける様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の業務日誌やケース記録への細かい入力。朝晩の申し送り等で小さな変化も逃さない様、職員全員が共有し、現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のモニタリングやケアカンファレンス、統一ケア個別対応表を作成し、現状に即したケアが行えているか、職員全員が関わる形で、介護計画を作成している。変更がある場合の時には、その都度カンファレンスを行っている。	・入居時に暫定プランを作り、1か月後に見直して本プランを作成している。カンファレンスを行い、本人、家族の要望と医療関係者の意見を反映して計画を作成している。 ・計画は6か月毎に見直し、状況変化時にはその都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や朝晩の申し送り、連絡ノートを活用し、情報の共有をしながら業務を進め、その都度見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その都度必要に応じた多角的なケアが行えるよう職員間で情報の共有をし、日々の変化を把握し、柔軟な支援やサービスが行えるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	一人ひとりに合った地域資源を見極め、それらを活用することで、安全で豊かな暮らしが送れるよう支援しています。(町内会など)		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科・歯科の往診や訪問看護にて、利用者様の健康状態を報告しています。緊急時にはその都度往診医に連絡を取れるように体制を整えています。	・現在、全利用者が、協力医（内科）の往診を受けている。他に希望者は、歯科、皮膚科、整形外科や神経内科の往診を受けている。 ・往診と通院の診療結果は、医師、看護師、薬剤師と職員間で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週火曜日の訪問看護にて現状の報告を行い、適切な看護や受診が受けられるよう支援にしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時には、面会や電話連絡等をし、病院関係者やご家族様と情報交換や相談を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に説明を行い、重度化・終末期へ移行した場合には、速やかに医師とご家族様が話し合える機会を設けている。	・利用開始時に「重度化・看取りに関する指針」を書面で説明している。 ・重度化し、又、看取りが必要な場合は、対応を家族と話し合い協力医と相談する方針であるが、看取りの実績はない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が緊急時対応マニュアルに沿った行動が取れるよう定期的に勉強会を行ったり、職員間で確認を行い、緊急時に備えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月、全職員・利用者も交えて避難訓練を行い、避難経路や緊急時の確認を行っている。また、地域消防署より、避難経路の確認や指導などを行って頂いている。	・年2回、総合的な避難訓練をしている。毎月、日勤帯に夜間を想定し、夜間担当職員がシュミレーションを通して訓練している。 ・非常用食料は、1階と2階にお米、うどん、飲料水等の約1週間分を確保している。	・避難訓練への近隣住民の参加を得るため、運営推進会議などにも図り、地域への働きかけを続けることが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人ひとりに合わせた声掛けや傾聴を行い、自尊心を傷付けない声掛けを行う様に努めている。	・業務優先ではなく、利用者優先を常に心がけるため、行動指針として「蘭寿クルド」13か条を毎朝唱和して人格の尊重とプライバシーの確保に努めている。 ・職員の気になる言動には、管理者がその場で注意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の話を傾聴し、何を希望されているのかを良く見極めながら、自己決定して頂けるような声掛けを行っています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様の要望に沿えるよう、無理のないペースを保ちながら、日々の生活を送って頂ける様に支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様やご家族様にお聞きし、一人ひとりに合った身だしなみやお洒落が出来る様日々支援しています。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節にあった食材や四季の行事を取り入れたり、自主メニュー（週1回、利用者様にお聞きし決める）を取り入れている。また、無理のない範囲でご利用者様と一緒に、準備や片付けを職員と共にして頂いている。	・食材は、毎日業者が旬の食材を届け、施設にて調理している。誕生日会に利用者の希望を聞き、外食か釜めし、お好み焼きなどで対応している。外食の希望が多く、回転ずしも人気がある。利用者はじゃがいもの皮剥き、食器拭きなどを手伝っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人お一人の状態に合わせ、摂取量が適切であるか、業務日誌に細かく記載して常に確認している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	清潔保持の為、毎食後口腔ケアの声掛けや誘導を行い、必要な方はお手伝いをさせて頂く。また、歯医者との連携も図っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	細かく業務日誌に記載する事でお一人お一人の排泄パターンを把握し、状況に応じた声掛けや誘導を行い、自立に向けた支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は、リハパンより布パンツを好む傾向にある。おむつを付けている方はいない ・排泄が難しい方が、オリゴ糖入りの牛乳を飲み、改善した事例がある。 ・排泄状況は、業務日誌に時間を記入して、排泄の自立を支援している。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量はもちろん、牛乳や食物繊維が豊富な物を取り入れたり、往診や訪問看護の際に相談し、個々に応じた予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調や気分に合わせて無理強いせず、声掛けし、入浴の際は体調に問題のない程度にゆっくりと過ごせるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ・週に2~3回、時間を決めず自由にゆっくり入浴できるように支援している。 ・入浴は、入浴剤を入れて楽しんでもらうよう対応している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	清潔な状態が保てる様毎日の清掃に加えて、定期的なリネン交換を行っている。清潔で安心して、気持ちよく眠れる環境作りを整えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に最新の内服薬が確認出来るように服薬専用ファイルを用意し、錠数まで記載している。服薬する際は必ず2人で行い、何かあった際は直ぐに対応できるよう支援に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	普段の会話などから、お一人お一人の趣味趣向を把握し、日々を張り合いや楽しみながら生活していける様に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	なかなかお一人お一人の希望に沿った支援は出来ていないが、天気の良い日や、季節を感じて頂ける時期には、お散歩や日光浴へお誘いし、気分転換をして頂く。お誕生日や定期的な外食の場を設けている。	・おやつを買いに、利用者2、3人と外出している。近くに公園があり、弁当持参にて出かけている。 ・天気の良い日は、出来るだけ散歩や施設の前にベンチを置き、日向ぼっこを楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には事務所で預かりさせて頂き、ご自分で管理出来る様な支援は行えていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様やご友人の方との連絡は、何時でも自由に行える様に、電話は直ぐに使える環境にしてある。お手紙に関しても同様に、やり取りが自由に行える様に支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間（廊下・リビング）に季節や行事ごとの飾りを取り入れ、四季を感じて頂ける様に工夫したり、気温や湿度、臭気にも気を配り、心地の良い空間が保てる様に努めている。	・廊下には、利用者と職員が作った季節の飾りやひな人形の絵があり、共用空間を楽しくする工夫をしている。 ・廊下の掃除は、利用者もできるモップかけなどを職員と一緒にしている。職員は消毒剤も活用して清潔にしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様同士で自由に談笑できる環境を整えている。お一人おひとりの身体的な特徴を把握し、心地よい空間作りを心掛けている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前から使い慣れていた物を居室内に取り入れたり、ご家族様やご本人様のご希望を聞きながら、以前暮らしていた状態に出来るだけ近づけ、安心して過ごしていただく様に努めている。	・居室には使い慣れたテレビ、仏壇等馴染みの物を持ち込み、居心地よく過ごせるように配慮している。 ・居室内は、整理整頓がされ掃除も行き届いている。濡れタオルを室内にかけて、湿度にも注意している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全を確保し無理強いをせずに、自室の掃除や食事の準備などのお手伝いを一緒に行うことで、出来るだけ自立して生活を送れるように支援している。		

事業所名	グループホーム蘭寿おりもと
ユニット名	あけぼの

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者はフロアーに入り、職員の理念が正しく理解出来ているのか確認している。職員は、常にお互いの行動を把握し、利用者様本位のケアを行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	獅子舞・お神輿・盆踊りに参加させて頂き、地域との関りを大切にしている。今後は、出来る事をもっと増やして行きたい。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	こども110番の登録を行い、地域活動に参加できる様に努力している。四季折々の地域行事へは、成るべく多く参加し、地域への関りを増やしていく。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催している。普段のホームの活動を報告させて頂き、地域の方々からの要望や行事の日程などをお聞きする。会議の内容は実践に活かせる様に努力している。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の場で、ケアサービスの内容など、積極的に伝える様になっている。また、区役所のケースワーカーの方へ詳しく状況報告を行い、いつでも協力が得られやすい状態を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束・言葉の暴力や虐待について、会議や申し送りで意識を高め合い、日々のケアの中で拘束がないか確認している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強する場を多く設けている。日々の着替えや入浴の場を大切な時間と捉え、お身体の隅々までチェックしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	会議や申し送りなど、日々学べる機会を多くし、ご利用者様の権利が正しく支援で来ているのか確認している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に十分な説明を行い、疑問点や不安がないか細かく確認を行い、納得されるまで説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様が来訪された時には、現状を細かく報告させて頂き、ご家族様からのご要望はないか確認させて頂いている。得られたご意見は直ぐに管理者へ報告し、迅速に対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は常に職員とコミュニケーションを図りながら、得られた意見や提案など代表者と話し合っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者が職員一人一人の状況を細かく代表者へ報告し、適切な管理体制が整われているか確認している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、職員の力量を細かく確認しており、外部研修等で、学べる機会を作っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者と交換研修の場を設け、他事業所の取り組みや違いを把握し、良い所は積極的に取り込み、サービスの質の向上に役立てている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様との関りを多く持ち、今何が必要で、何か困った問題はないか、細かくお聞きしている。常に話し掛けやすい関係を気付ける様、努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に十分な説明を行い、入居が開始されてからは、ご家族様と密に連絡を取り合いながら、ご要望や困った事はないか確認させて頂いている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要な支援が出来ているのか、ご家族様やご本人様の要望をしっかりと把握し、適切なサービスが受けられる様に対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の状況を見極め、個人のやれる事を大切に、お手伝いやレクリエーション等を通して、より良い関係を築いて行ける様努力している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様がご本人様の今の現状を細かく分かる様に、毎月のお手紙で状況を報告させて頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様とご家族のご要望があった場合には、外出支援を行い、それまでの関係が途切れない様、対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は日々の生活の中で、個々の性格を細かく把握し、利用者様同士が関わり合いを持てる様な状況作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後は、それまで築いてきた関係性を大切にし、ご家族様がいつでも相談できる様に、出来る範囲で支援していく。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人様からご希望が得られなかった場合には、ご家族様からの情報を大切にし、ご本人様本位の暮らし方を工夫・検討してみる。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様との関りの中から得た情報や、ご家族様からお聞きした内容を情報共有しながら把握していく。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝晩に行われる申し送りや、業務日誌・PCのケース記録の内容を確認し、ご利用者様の現状を日々、細かく把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に行われる、モニタリング・ケアカンファレンスを元に、適切なサービスが行われる様、介護計画を話し合っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	朝晩の申し送りや、細かな気づきが書かれている申し送りノートを活用し、介護計画書の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様の状況や、ご本人様の意向も含め、外部ヘルパーの提案等、柔軟な対応が出来る様に支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人様からのご要望などがあった場合には、速やかに関係機関と協力し、支援していく。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	隔週の内科往診・毎週火曜日の訪問看護や、定期的な歯科の往診があり、お身体の状態を細かく把握している為、迅速な対応が得られる様になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週火曜日には訪問看護で、お身体の状態を報告している為、必要な医療機関に速やかに受診できる様に支援されている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診医が各専門の医療機関で治療が受けられる様に手配して下さるの で、病院関係者と情報共有を密に行い、退院までの流れを把握できる様に務めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約の際に、重度化した場合のお話をさせて頂き、施設での対応の限界に付いては、説明してある。終末期が近づいて来た場合には、ご家族様へ説明を行っていく。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に備えて、各マニュアルが作成されており、いつでも対応できる様に、確認を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	フロアでは、月に一回は手順を確認し、避難訓練を行っている。また、消防署の方が設備点検に等に来て下さって、経路の確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けや周りへのプライバシーを確保し、一人一人の人格を大切に対応出来る様、職員同士でも気になったら直ぐに指摘している。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の希望が尊重される様に、職員は勝手な思いなどで行動しない様に注意し、自己決定力のない方にはご家族様のご意向も伺っていく。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員はご利用者様の状況を常に確認し、お一人お一人に合わせた支援を最優先に考えていける様に努力している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本に様の趣向やご家族様のご意見なども伺い、その方らしい身だしなみが出来る様にお手伝いしている。定期的な理美容が受けられる様になっている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に合った旬な食材を取り入れたり、行事ごとを大切にしている。出来る事は一緒にお手伝いして頂き、準備を進めている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事や水分量など、細かく業務日誌に記入しており、お一人お一人に合わせた適切な量が提供出来ているのか確認出来る様になっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、お一人お一人の状況に応じた口腔ケアが行える様に、声掛けを工夫しながら対応している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	細かな一日の行動パターンを把握し、お一人お一人に合った適切な誘導が出来る様にしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量の確認や見直しを行い、牛乳やオリゴ糖なども適切なタイミングで摂取して頂き、予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	希望される時間帯や体調なものも考慮し、入浴を楽しんで頂ける様に、時間に余裕をもってご案内している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝の誘導は、お一人お一人に合わせた時間に出来る様に支援している。また、寝具は清潔で気持ち良く入眠できる状態なのか、毎日確認している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬説はいつでも最新の物が確認出来る様になっており、新しいお薬の使用や変更時には必ず確認する様に、申し送りノートを活用するなどして情報共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様のお好きな物や、楽しみを見つけ、日々の生活の中で活躍できる場を設ける事により、日々の生活に張り合いが持てる様に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お天気の良い日には、お散歩や外気浴へ出掛けている。また、外食の機会も設けられる様に努力しているが、ご本人様のお好きな場所へは、ご家族様にも協力して頂きながら希望に添える様、支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様の同意の元、事務所で預かりし、必要な場合には直ぐにお渡し出来る様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話の持ち込みも、ご家族様の同意があれば出来る様になっている。また、お持ちでないご利用者様でも、ご希望があれば直ぐに使える様にご案内している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせた装飾を行い、四季を体感できる様に心がけている。また、臭いや不快になる物を取り除き、快適な空間作りに努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各ご利用者様の性格を細かく把握し、気の合う方同士が話しやすくなる様な環境を作る努力をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の愛着のある物を配置し、安心してご家庭にいる様な、居心地の良い空間作りに努めている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人お一人の状況を理解した上で、出来る範囲でご自分の身の回りの事をして頂き、安全に自立した生活が送れる様に支援している。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム
蘭寿おりもと

作成日 令和 2年3月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	年2回の防災訓練の際、実際に車椅子の方、ほぼ寝たきりの方まで参加していただき、訓練を行っていない。もし全員の方を避難させた場合、事故につながる危険性がある為、自立の方のみでの訓練が多い。	年2回だけではなく、月1回行っている訓練でも、スムーズに防火扉まで全後ご利用者様を導き出せるように、普段より訓練する。	地域の住民の方にも参加頂き、実際に行っている防災訓練を客観的に見て頂き、足りない分など気づいた点を報告していただく。(2か月に1度の運営推進会議の日に合わせて行う。)	12か月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。